

My favorite place

八戸薬剤師会 郡川 康

映画『国宝』の大ヒットが記憶に新しいところですが、劇中で描かれた歌舞伎という「形なき芸の至宝」の、美しい世界観に魅了された方も多いのではないのでしょうか。

ひとくちに国宝と言っても、受け継がれる技や芸能から歴史を映す造形物まで様々ですが、私たちが暮らす八戸市にも全国に誇るべき素晴らしい国宝が存在しています。

薬局での慌ただしい日々のなかで心をふっと整えてくれる、私の「お気に入りの場所」として、八戸が誇る至宝の魅力をご紹介します。

ひとつ目は、是川縄文館に展示されている「合掌土偶」です。

縄文時代晩期に作られたとされるこの土偶は、その名の通り胸の前で静かに両手を合わせ、一心に祈りを捧げる姿をしています。

体育座りのような独特のフォルムと、どこか切なくも温かい表情。数千年前の縄文人が何を祈り、どんな想いで土を捏ねたのかに馳せる時間は、贅沢なひとときです。

もうひとつは、櫛引八幡宮に奉納されている二領の甲冑、
「赤糸威鎧（あかいとおどしよろい）」と
「白糸威褰取鎧（しろいとおどしつまどりよろい）」です。

特に赤糸威鎧は「菊一文字の鎧」と称され、日本一美しい甲冑と誉れ高い逸品です。

繊細な金具装飾と鮮やかな糸の対比は、武具であることを忘れるほどの圧倒的な工芸美を放っています。

歴史ある空間で至宝と対峙すると、
昔の人々の祈りや美意識が静かに心に染み渡ります。

身近にある至宝を訪ねる時間は、最高の心身の処方箋です。
皆様もぜひ、八戸の国宝に会いに出かけてみませんか？